

平成23年度森林・林業対策概算決定の主要事項

森林・林業の再生に向けて ～元気な森林を次世代へ～



主要課題

森林・林業の再生と多面的機能の持続的発揮

- 林業の再生とそれを通じた森林の多面的機能の持続的発揮や低炭素社会への貢献
 - ・路網整備を進めつつ、搬出間伐、施業の集約化を軸として、今後10年間を目途に効率的かつ安定的な林業経営基盤づくり
- 森林吸収源対策の着実な推進
 - ・京都議定書の温室効果ガス削減目標6%のうち3.8%を森林吸収で確保するためには、毎年55万haの間伐が必要
- 山地災害への対応
 - ・森林の山地災害の防止機能等を高め、国民の安全・安心を確保

人材の育成

- 地域における森林づくりのマスタープランを作成しその実行を指導できる人材、集約化施業を提案する人材の育成
- 間伐や道づくり等を効率的に行える人材の育成

国産材の利用拡大

- 10年後の木材自給率50%以上を目指した地域材の利用拡大
- 補助から融資への転換

森林・林業の再生の取組の理解の促進

- 2011年は国連が定める「国際森林年」
 - ・我が国の森林・林業再生の取組と相まって国民の理解の促進を図る

主要事項

森林管理・環境保全直接支払制度の創設

- 集約化して計画的な森林整備を行う者を対象に、搬出間伐等の森林施業と森林作業道の開設を支援 【森林環境保全直接支援事業 294億円】
- 集約化施業の取組に必要な森林情報の収集、森林の現況調査、境界確認等の活動を支援 【施業集約化促進対策 30億円】

丈夫で簡易な路網整備の推進

- 丈夫で簡易な「林業専用道」「森林作業道」の規格等を新設し、これらに予算を重点化することで路網整備を加速化 【林業専用道整備対策 85億円】

安全・安心の確保に向けた治山対策の重点化

- 緊急性・重要性を踏まえた災害復旧対策や水源地域における重点的な森林の再生対策を推進 【治山事業 608億円】

森林・林業再生プランの実現に不可欠な人材の育成

- 日本型フォレスターの育成や活動支援、集約化施業の設計図を描く森林施業プランナーの育成 【森林づくり主導人材育成対策 5億円】
- 林業への新規就業者の確保・育成・キャリアアップ等 【「緑の雇用」現場技能者育成対策 55億円】

地域材の利用拡大の推進

- 地域における原木の安定供給や木材産業の活性化、木造公共建築物等への地域材利用による実需拡大等 【地域材供給倍増対策 11億円】
- 補助事業に代えて、林業者等の設備投資等に係る融資を充実 【林業金融対策 22億円】

国際森林年の取組の推進

- 国際森林年に関する取組を国内外で推進 【国際森林年推進事業 3億円】